

# 令和8年度 6月補正予算（案） 及び 新県民体育館整備等基本計画の概要



令和8年6月  
高知県総務部財政課

- 目指すべき高知県像の実現に向け、必要な施策を着実に実施するための予算を計上
- 国の補正予算を活用し、物価高騰の影響を受ける生活者や事業者の負担を軽減

## 1. 主な事業

1,797百万円  
(債務負担行為額 626百万円)

- ◆ 新県民体育館の整備に向け、測量調査や設計等を実施
- ◆ 高付加価値型経営への転換のさらなる促進に向け、所得向上推進企業等総合支援事業費補助金を増額
- ◆ ふるさと納税型CFの仕組みを活用し、県立施設による独自の取組を後押しする支援制度を創設
- ◆ 令和9年1月の高知空港国際線ターミナルビル一部供用開始に向け、管理運営を委託

## 2. 物価高騰対策

679百万円

- ◆ 特別高圧で受電する事業者及びLPガスを使用する一般消費者等の負担を軽減
- ◆ 物価高騰の影響を受ける医療・社会福祉施設等を支援
- ◆ 飼料価格高騰の影響を受ける畜産農家、飼料に加え燃油価格高騰の影響も受ける漁業者等の負担を軽減

など

上記のほか、中東情勢に伴う原油・原材料価格の高騰への対応として、県内事業者に対する緊急支援融資制度を創設（令和8年5月18日より）

## 3. その他

564百万円  
(債務負担行為額 620百万円)

- ◆ 業務効率化や職場環境の改善を目指す病院に対し、ICT機器の導入等を支援
- ◆ 県内の周産期医療機関に対し、周産期カルテシステムの導入等を支援
- ◆ 老朽化した藤並の森橋梁の改修設計を実施

など

# 6月補正予算（案）の全体像

## 歳入

(単位 千円、%)

区 分	令 和 8 年 度			前年度6月補正後 (D)	前年度6月比増減 (C-D)/(D)
	現計予算(A)	補正額(B)	計 (A+B=C)		
(1) 一 般 財 源	352,354,877	1,859,895	354,214,772	327,556,018	8.1
県 税	71,344,386		71,344,386	70,918,454	0.6
地方消費税等清算金	43,088,735		43,088,735	38,439,057	12.1
地方譲与税	17,582,661		17,582,661	16,896,994	4.1
地方交付税等	194,497,190		194,497,190	181,259,000	7.3
財調基金取崩ア	8,468,557	1,859,895	10,328,452	7,169,019	(44.1)
その他	17,373,348		17,373,348	12,873,494	35.0
(2) 特 定 財 源	154,742,585	1,180,175	155,922,760	148,989,861	4.7
国庫支出金	75,506,230	1,108,464	76,614,694	68,340,713	12.1
県 債	47,103,800	14,200	47,118,000	47,490,000	△ 0.8
(うち行革債・退手債) イ	(2,000,000)		(2,000,000)	(3,000,000)	(△ 33.3)
減債基金(ルール外分)等 ウ	3,275,168		3,275,168	3,392,890	△ 3.5
その他	28,857,387	57,511	28,914,898	29,766,258	△ 2.9
総計 (1)+(2)	507,097,462	3,040,070	510,137,532	476,545,879	7.0

財源不足額(ア+イ+ウ再掲)	13,743,725	1,859,895	15,603,620	13,561,909	15.1
----------------	------------	-----------	------------	------------	------

(単位 千円、%)

## 歳出

区 分	令 和 8 年 度			前年度6月補正後 (D)	前年度6月比増減 (C-D)/(D)
	現計予算(A)	補正額(B)	計 (A+B=C)		
(1) 一 般 行 政 経 費 等	411,505,003	2,935,950	414,440,953	384,119,127	7.9
人 件 費	116,235,816	2,297	116,238,113	110,534,214	5.2
扶 助 費	13,078,898		13,078,898	12,377,761	5.7
公 債 費 (※)	75,008,607		75,008,607	69,270,901	8.3
その他	207,181,682	2,933,653	210,115,335	191,936,251	9.5
(2) 投 資 的 経 費	95,592,459	104,120	95,696,579	92,426,752	3.5
(補助)普通建設事業費	55,007,536	47,602	55,055,138	54,458,242	1.1
(単独)普通建設事業費	34,073,522	56,518	34,130,040	31,478,766	8.4
災害復旧事業費	6,511,401		6,511,401	6,489,744	0.3
総計 (1)+(2)	507,097,462	3,040,070	510,137,532	476,545,879	7.0

(※) 公債費は、減債基金への積立てを考慮した金額としている。

## 新 ① 新県民体育館整備事業 **218,527千円** 【債務負担 (R9~R10) 533,767千円】

[スポーツ課]

新県民体育館の整備に向けた基本設計及び実施設計、コンストラクションマネジメント (CM) 業務、現県民体育館及び旧南消防署の解体設計、各種調査を実施

委託先：設計事業者等

委託内容：基本設計・実施設計、CM業務、解体設計、測量調査、地質調査、工損調査

※設計に運営の目線を適切に取り入れるため、アドバイザーから助言を受ける仕組みを設け、基本設計完了時などの節目には公開会議を実施

### 施設概要

【主な施設規模】 ※延床面積約17,000~19,000㎡ (ピロティ、地下駐車場除く)  
メインアリーナ：バスケットボールコート3面、観客席5,000席以上 (最大)  
サブアリーナ：バスケットボールコート2面、観客席500~1,000席程度  
武道館：試合場3面  
プール：25m×6~8コース程度 (うち1コースはスロープ)  
駐車場：250台以上 (地下駐車場の選択肢を含む)



※施設規模は現時点の想定であり、今後の検討で変更の可能性あり

### 想定スケジュール ※令和13年度半ばの供用開始を目指す

令和8年度 (2026)	令和9年度 (2027)	令和10年度 (2028)	令和11年度 (2029)	令和12年度 (2030)	令和13年度 (2031)
公募 手続	基本設計 実施設計 CM業務	公募 手続	建設工事		
解体 設計	公募 手続	解体工事			
各種 調査					
				開館 準備	供用 開始

## 拡 ② 所得向上推進企業等総合支援事業費補助金 **1,500,000千円** [産業政策課]

製品の高付加価値化や生産能力の向上など、高付加価値型経営への転換に取り組む企業への支援を強化 ※既計上予算15億円を倍増

補助先：県内に本社・主たる事業所を置く中堅・中小企業等

補助率：2/3

補助額：横展開枠 上限10,000千円 (15,000千円)

先進枠 上限50,000千円 (75,000千円)

※ ( ) の金額は、100億企業枠を活用した場合

## 拡 ③ 地域活性化支援事業費補助金 **30,000千円** [政策企画課]

ふるさと納税型クラウドファンディングの仕組みを活用した「地域活性化支援事業費補助金」を拡充し、県立施設のサービスの高付加価値化に資する新たなプロジェクトを支援

補助先：自律性向上団体※ 6団体〔文化財団、牧野記念財団、のいち動物公園協会、土佐山内記念財団、スポーツ振興財団、地産外商公社〕

補助率：定額

補助内容：高付加価値型サービスの提供を通じた県民サービスの向上と経営改善に資する事業を支援

※自律性向上団体：利用者数等が年間5万人以上の施設を管理・運営している公社等外郭団体

## 新 ④ 高知空港国際線ターミナルビル管理運営委託料 **13,134千円** 【債務負担 (R9~R12) 92,602千円】 [交通運輸政策課]

令和9年1月から一部供用開始する高知空港国際線ターミナルビルの管理・運営を委託

指定管理者：高知空港ビル株式会社 (予定)

指定期間：R8.12.1~R13.3.31



# 物価高騰対策

## 電気・ガス料金高騰に対する支援

**新** ① 特別高圧電気料金高騰緊急支援給付金 **56,309千円**  
[商工政策課]

特別高圧（国支援の対象外）で受電する事業者を支援

対象者：特別高圧契約で受電している鉱工業者又は商業施設（テナント含む）

※大企業は、営業利益額が前年度比で減少している者が対象

支援内容：国の高圧電力値引き相当額（R8.7～9月分）を給付

**新** ② LPガス料金高騰対策支援事業費補助金 **356,274千円**  
[消防政策課]

LPガス（国支援の対象外）を使用する一般消費者等を支援

対象者：一般消費者等（高知県LPガス協会を通じた支援）

支援内容：1,600円（R8.7～9月相当分）を9月分、10月分  
料金に分けて値引き



## 飼料・燃油高騰に対する支援

**新** ④ 畜産経営体質強化緊急支援給付金 **31,649千円**  
[畜産振興課]

配合飼料価格の高止まりの影響を受ける畜産農家の負担を軽減

対象者：セーフティネットに加入し飼料コスト削減や生産性向上に  
取り組む畜産農家

対象期間：R8.7～9月分

支援内容：配合飼料価格の農家負担増加分の1/2を給付



**新** ⑤ 漁業用燃油等高騰緊急対策給付金 **132,892千円**  
[水産業振興課]

燃油や配合飼料価格の高止まりの影響を受ける漁業者等の負担を軽減

対象者：セーフティネットに加入し燃油使用量の削減等に取り組む  
漁業者・養殖業者

対象期間：R8.7～9月分

支援内容：セーフティネット発動時の漁業者等負担分の1/2を給付



## 医療・社会福祉施設等への支援

**新** ③ 医療・社会福祉施設等物価高騰緊急対策給付金 **101,736千円**  
[医療政策課ほか]

電気代等の高騰の影響を受ける医療・社会福祉施設等に対して、施設規模に応じて支援

対象者：県が開設許可等を行う医療・社会福祉施設等

支援内容：電気料等高騰分の1/2相当（R8.7～9月分）を給付

給付額：医療施設（病院240千円、有床診療所165千円等）、  
社会福祉施設（通所系・訪問系25千円、入所系50～150千円）等



## その他の支援

**新** ⑥ 県立学校における給食費の負担軽減 **264千円**  
[保健体育課]

県立高校（定時制）の学校給食費増額に係る保護者等の負担を軽減

対象期間：R8.4～R9.3月分

支援内容：物価高騰に伴うR8.4月からの給食費の値上げ分  
に対して支援



物価高騰に係る補正には、令和8年6月5日に成立した国の令和8年度補正予算（第1号）により配分された物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用

## ①地域医療提供体制の充実・確保

501,108千円

[医療政策課]

### 新 (1) 業務効率化事業補助金

324,315千円

医療機関における業務効率化・職場環境改善に資する取組を支援し、効率的で質の高い医療提供体制を構築

補助先：「業務効率化計画」を作成し、厚生労働省に選定された病院

補助率：4/5（国2/3、県1/3）

補助内容：ICT機器等の導入により生産性向上を図る医療機関に対して必要な経費を支援

### 新 (2) 地域連携周産期医療体制モデル事業

150,011千円

医療機関同士の産科診療に関する情報の伝達を円滑化することで、緊急時の適切な搬送判断や質の高い医療の提供ができる体制を構築

補助先：県内の周産期医療施設等

補助率：定額

補助内容：県内の周産期医療施設間の情報連携ネットワークの整備に要する経費などを支援

### 新 (3) 産科・小児科医療機関等支援事業

26,782千円

地域でこどもを安心して生み育てることのできる周産期医療体制及び小児医療体制を確保するため、少子化の影響を受ける施設等を支援

交付先：分娩取扱施設、妊婦健診等実施施設及び小児医療の拠点施設

交付率：1/2

交付内容：分娩件数や患者数が減少した医療機関等に対して、施設運営等に係る経費を支援



## 新 ②水産業競争力強化緊急施設整備事業費補助金

46,992千円

[水産業振興課]

産地市場の機能強化を図るため、椎名市場の製氷施設の整備を支援

補助先：室戸市（事業実施主体：高知県漁業協同組合）

補助率：6/10（国1/2、県1/10）

補助内容：製氷施設の整備を支援



## 新 ③顕彰動画等作成業務委託料

7,500千円

[生涯学習課]

子どもたちの科学に関する探究・キャリア教育を推進するため、本県の名誉県民であり、世界的なコメットハンターである関勉氏の顕彰動画等を作成

委託先：民間事業者

委託内容：顕彰動画等の作成



## 新 ④橋梁改修設計等委託料

8,822千円

[文化振興課]

老朽化が進む藤並の森の橋梁について、通行者の安全性確保のため、改修設計等を実施

委託先：設計事業者等

委託内容：橋梁の改修に向けた設計等



## 拡 ⑤国道441号防災・安全交付金事業（中半バイパス工区）

【債務負担（R9～R10）620,000千円】

[道路課]

安全対策に要する経費の追加や国労務単価の改定等に伴い、債務負担行為額を増額

# 新県民体育館整備等基本計画の概要

## 基本理念

誰もがスポーツの楽しさや感動を得られ、プロスポーツやエンタメ、文化などを通じたまちづくり・地域活性化の拠点

## 所在地



【所在地】 高知市棧橋通2丁目1番53号  
 アクセス：JR高知駅から車で7分、高知龍馬空港から車で24分、  
 とさでん交通棧橋二丁目電停から徒歩1分

【敷地】  
**現在の県民体育館、旧南消防署敷地、アスパルこうちグラウンド** (全面)  
 ※土地の所有者は高知市

【用途地域】  
 敷地東側が第一種住居地域、敷地西側が商業地域

## 基本方針及び整備方針

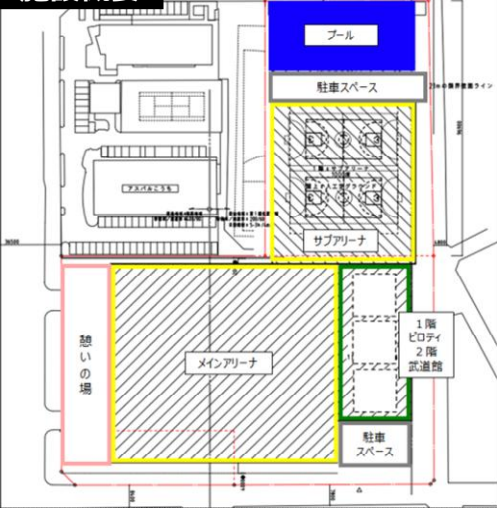
### 基本方針

- (1) まちづくりの拠点 まちづくりやコミュニティの形成のハブ
- (2) スポーツ振興の拠点 県民のニーズに合ったスポーツを「する」施設
- (3) にぎわいの拠点 スポーツを「みる」という文化の定着
- (4) 安心・安全な拠点 ユニバーサルデザイン、一時避難が可能な施設

### 整備方針

- 1 **スポーツをする施設（社会体育施設）に加えて、アリーナ機能を融合した複合施設の整備**
- 2 メインアリーナとサブアリーナを備え、「スポーツ」×「エンタメ」を実現し、多目的に活用できる施設として整備
- 3 **プロスポーツのレギュレーションやコンサート等の興行に適した規模・機能の整備**
- 4 **県立武道館を移転・集約化**する整備
- 5 **高知がばさんセンター大ホールの機能を集約**し、展示会等のMICEの開催が可能な規模・機能の整備
- 6 「稼げる」施設となるよう、諸室の効率的な運用や飲食スペースの設置などが可能な整備
- 7 老若男女、特に**若者や子どもが集い**、多世代で楽しみ、交流できる憩いの空間の整備
- 8 **ユニバーサルデザイン**に対応した整備
- 9 **災害時の避難機能**を備えた整備
- 10 県の財政状況を踏まえ、コスト圧縮や国の有利な起債なども積極的に活用した整備

## 施設概要



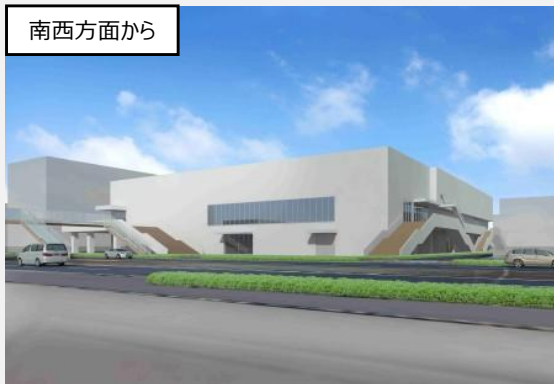
※施設構成、機能および規模は現時点で想定する内容であり、今後具体的な利用形態の想定を精査する中で変更することがある

### 【主な施設規模】

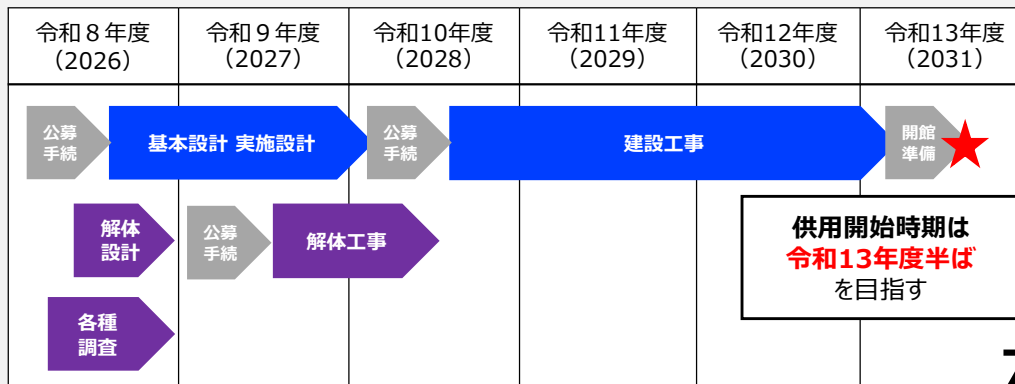
- メインアリーナ**：バスケットボールコート3面、**観客席5,000席以上（最大）**  
 ⇒**全国規模のアマチュア競技大会、プロスポーツの試合、音楽コンサート、大規模展示会**など多目的に使用
- サブアリーナ**：バスケットボールコート2面、観客席500～1,000席程度  
 ⇒主に**競技大会**に使用
- 武道館**：試合場3面、観客席300席以上
- プール**：25m×6～8コース程度（うち1コースはスロープ）  
 ⇒障害のある方も利用できる**インクルーシブなプール**
- 駐車場**：**250台以上**（地下駐車場の選択肢を含む）

※延床面積の想定は約17,000～19,000㎡（ピロティ、地下駐車場除く）

## イメージパース



## スケジュール



# 新県民体育館整備等基本計画の概要

## 概算コスト等

### 整備コスト

＜試算の前提＞  
参考となる他のアリーナ11施設の整備費を踏まえ、1㎡あたりの整備単価を算出し、想定延床面積を乗じる等の試算により、整備の概算コストを**208.9億円**と見込む

着工が予定される令和10年には、**さらなる建設費高騰により、事業費の上振れ**が見込まれる

### 収支の見通し

＜試算の前提＞  
県内にプロスポーツがない時期を「するスポーツ中心時期」、県内にプロスポーツチームが誕生し、新県民体育館をホームアリーナとして試合を開催している時期を「する+みるスポーツ時期」として分け、**利用料金を現在の県民体育館の水準をベースに2倍又は1.5倍の場合をそれぞれ試算**

県の財政負担（指定管理代行料）は**年間1.6億円～1.9億円程度**が見込まれる

## 経済波及効果

完成後**30年間で1,089億円を超える効果**が見込まれる

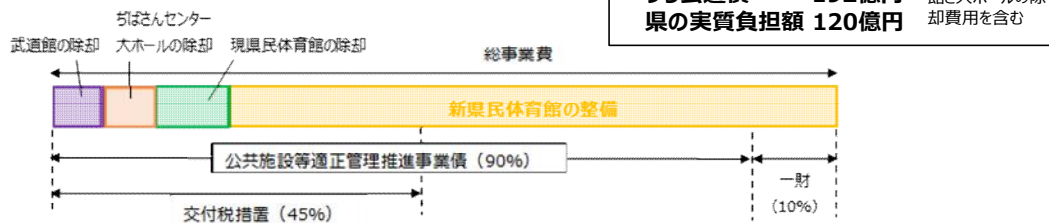
(単位：百万円)

	直接効果	第1次波及効果	第2次波及効果	総合効果
建設による波及効果	20,890	6,257	3,803	30,950
維持管理運営による波及効果	5,985	1,511	1,061	8,558
イベント来場者による波及効果	46,364	15,698	7,408	69,470
合計	73,239	23,466	12,272	108,977

## 財源内訳

- 公共施設等の集約化・複合化を図り整備する場合に活用できる「**公共施設等適正管理推進事業債（公適債）**」を整備費に充当
- 対象事業費における起債充当率90%、交付税措置率50%の有利な制度

### ＜公共施設等適正管理推進事業債の充当イメージ＞



## 防災対策

### ＜課題＞

- ・津波浸水エリアに立地しており、南海トラフ地震（L2クラス）の発生で、**2～3mの津波浸水、津波到達時間40～60分**が予想される。
- ・現在の県民体育館は、「指定避難所」に指定されているが、「**指定緊急避難場所**」には指定されていない。

### ＜対策＞

- 「**指定緊急避難場所**」への指定
- 「**指定避難所**」への指定及び**収容可能人数分の備蓄スペースの確保**  
津波発生などの非常時において、メインアリーナの2階以上の観客席やコンコース、サブアリーナの屋上などに緊急一時避難ができ、収容可能人数分の備蓄を保管するスペースを確保する など
- **地下駐車場を整備する場合の対策**  
・内水氾濫の浸水対策として地下駐車場の出入りに止水板や土嚢等の設置 など  
・津波の浸水対策として地下駐車場から垂直避難ができる階段（ルート）を複数確保 など
- **避難訓練などのソフト対策** ・定期的な避難訓練の実施 など

## 事業手法

### ＜結論＞

定量的評価と定性的評価を踏まえた総合評価の結果、**設計・施工・運営を分離して発注する「従来方式」**を採用

### ＜考え方＞

定量的評価では、PFI等の官民連携手法は従来方式と比較して、公共負担額を最大3.8%（現在価値ベース）削減できる試算となったが、「県民等の意見反映」「状況変化やリスクへの対応」などの観点を重視した定性的評価や新県民体育館が社会体育施設としての機能を有することなどを踏まえ総合的に判断した結果、最も適した事業手法は「従来方式」と結論づけた。

なお、実施にあたっては、サウンディング調査などによる市場動向等の把握や、発注者支援業務の導入等により、不調・不落の回避や工期の確実な遵守に努める。

## 教育的配慮事項

- **高知市教育施設**（高知市青年センター、高知市教育研究所、高知市立潮江中学校分教室（学びの多様化学校）及び潮江市民図書館）の**教育活動**や一般市民に対する文化的サービスに配慮する
- 新県民体育館の敷地として**アスファルトのグラウンドを全面使用することへの代替措置**として、グラウンド敷地に建つ**サブアリーナの屋上に人工芝等を敷設し、児童・生徒が運動や活動のために優先的に使用できるスペースを設置**する
- **県と高知市教育委員会で定期的な協議の場**を設け、新県民体育館の供用開始後も、施設管理者と高知市教育委員会で定期的な協議の場を設ける など
- その他、アスファルトのグラウンドを全面使用するにあたり、**高知市教育委員会が求める「教育的な配慮」について最大限の配慮を行うこと**とし、具体的な内容については、県と高知市教育委員会が開く定期的な協議の場で決めていく